

松本正雄 まつもと まさお 評論家。明治二十四年二月十四日東京生れ、昭和五
 十一年四月十五日没（一九二一七）。大正十二年青山學院英語師範科卒、
 昭和九年東京外國語學校英語專修科卒。平凡社入社。日本プロレタリ
 ャ作家同盟（略稱ナルプ）、プロレタリア科學研究所を経て、戦後日
 本民主主義文化連盟加盟。二十四年日本共産黨入党。中央労働學園理
 事、日本ジャーナリスト會議副議長歴任。
 著譯書 『朗白への文學精神―民主主義文學のため』（合著、昭和一
 十一年七月十日労働文化社）、『文藝學の諸問題』（石山徹郎記念論文集）
 『私の青春時代』（合著、九州評論社編集部編、昭和二十二年八月二
 十日福岡・九州評論社）、『民主主義文學運動・一九四八年』（合著、
 昭和二十二年九月）二十日新日本文學會編刊）、『近代文學十講』（合
 著・中島健藏・岩上順一編、昭和二十五年十月二十日ナウカ社）、ハワード・フ
 ァスト著『ピークスキル事件』（譯、昭和二十七年八月）二十日筑摩書
 房）、『現代文學十講』（合著・舟木重信・除村吉太郎監修、昭和二十七年十
 一月五日富士出版社）、ハワード・ファスト作『ぼくらは無罪だ！』
 サツコとヴァンゼッテイの受難』（藤川健夫共訳、昭和二十年十一月
 二十日新評論社）『文芸叢書』等。

